

## 第2回知識共創フォーラム 発表募集案内 <<http://www.jaist.ac.jp/fokcs/>>

知識は、人間の生命・安全保障から企業・都市・国家の経営、そして地球規模の持続可能社会構築に至るまであらゆる社会的活動の中核を担う要素です。旺盛な知的好奇心をもって、個人や組織における知識の創造・共有・活用に潜む知的神秘を解明し、より高度に成熟した知識社会を実現していくための指針を提案していくことは、知識科学の大きな学術的使命です。この実現のためには、

1. 幅広い視野に基づいた社会や生活における知識の深い洞察と問題提起
2. 知識の創造・共有・活用に関わる前例にとらわれない独創的な仮説やモデルの構築
3. 知識を適切に抽出・評価できる方法論による仮説検証とモデルの洗練

を継続的に行っていくことが必要であり、同時に、研究者や実務家との分野を超えた密度の濃い議論が不可欠です。

このような意識のもと、研究報告者と参加者が知識を共に創造していくことを通じ、広く知識科学研究の基盤を形成していくことを目的として、第2回知識共創フォーラムを開催します。

会期：平成24年3月3日（土）、4日（日）

会場：北陸先端科学技術大学院大学・知識科学研究科棟5階・コラボレーションルーム2

住所：石川県能美市旭台1-1

### 1. 主な構成

第2回知識共創フォーラムは、以下の5種類のセッションによって構成されます。

#### I. 招待講演セッション：

招待講演タイトル：「知識機構と認知の分散性」

招待講演者：下嶋 篤 教授 【同志社大学 文化情報学部文化情報学科】

#### II. テーマセッション：「知識と外部世界」（20分発表，20分合同質疑応答）

人間の知識は、脳だけで実現されているのではなく、外部世界に存在する様々な資源を脳が巧妙に利用することによって実現されています。こうした資源には、ノート、テキスト、計算機といった知的道具、会話の相手・会議の参加者である他人、果物の色・シャワーの音といった環境に偏在する自然記号などが含まれます。本セッションでは、人間の知識を創造、共有、活用する過程で欠かすことのできない外部世界との関係に着目した発表・講演を、幅広い分野から募ります。登壇者は自らの研究活動を基にその解明や問題解決の

方向性を提案し、参加者と共に議論を深めることが期待されます。そして、知識と外部世界との関係性について議論することで多様な観点からの共通の見解および共同研究の糸口を見出すことを目的とします。このセッションが本フォーラムの中核となります。

### III. 一般セッション（20分発表，20分質疑応答）

本セッションでは、各自の知識科学研究の成果を報告し研究を進めることを目的とします。登壇者は知識科学に関連すると考えられるテーマについて、自らの研究活動を魅力的に説明することが期待されます。また、参加者は発表に対し、補うべきロジックや新しい展開の方向性についてアイデアを提供することが期待されています。

### IV. シーズ（種）セッション（15分発表，20分質疑応答）

知識の創造・活用を促進させると考えられる、自らの持つ技術やコンセプトの種を成長させることが目的のセッションです。登壇者は自らのアイデアを明瞭かつ魅力的に解説することが、また、参加者は当該アイデアの持つ理論的・実用的意義について考えコメントすることが期待されます。

### V. ポスターセッション（1時間30分発表）

知識科学に関する内容について発表者がポスター形式で成果を発表し、参加者と議論を進めることで知識共創を促すことを目的とします。

## 2. 対象課題

知識の創造・共有・活用に関わるあらゆる研究を対象とします。特に、以下の課題に関係のある話題を歓迎しますが、これに限るものではありません。

1. 幅広い視野に基づいた社会や生活における知識の深い洞察と問題提起
2. 知識の創造・共有・活用に関わる前例にとらわれない独創的な仮説やモデルの構築
3. 知識を適切に抽出・評価できる方法論による仮説検証とモデルの洗練

#### （参考キーワード）

知識科学，研究開発マネジメント，ナレッジ・マネジメント，サービス・マネジメント，知識経済，知識人類学，人材マネジメント，感性情報処理，イノベーション・マネジメント，医療サービス，オントロジー，発想支援システム，知識創造プロセス，知識発見，デザイン思考過程，スキルサイエンス，身体化された認知，知識表現，知識共有支援システム，知識獲得，知識観，メディア・インタラクション，創造性支援システム，認知科学，認知モデル，認知心理学，意思決定分析，創造活動支援，メディア創造，コミュニケーション支援システム，ソフトウェア開発のための知識創造支援，知識構成システム論，複雑

系，市場制度分析，シミュレーションシナリオ分析，システム方法論，複雑ネットワーク科学，地域イノベーション，高等教育マネジメント，その他

### 3. 本フォーラムでの発表の取扱い

- まず，発表のアブストラクト（1000 字程度，かつ，A4 で 1 枚以内）を，下記の「5. 投稿方法」に従って投稿していただきます．
- アブストラクトの内容を査読した上で採否を決定します．
- [II]～[IV]のセッションに採録された方にはフォーラム開催の前に発表に関する論文を提出していただきます（ページ数は4～10）．なお，ポスターセッションに採録された方の論文提出は任意とします．
- 提出された論文は web 版論文集を通じて公表されます．

### 4. 主なスケジュール

- アブストラクト投稿締切：~~平成 23 年 12 月 27 日 (火)~~平成 24 年 1 月 10 日 (火) AM9:00  
(締切延長されました)
- 採録通知：平成 24 年 1 月 20 日 (金)
- 論文提出締切：平成 24 年 2 月 15 日 (水)
- 第 2 回知識共創フォーラム開催：平成 24 年 3 月 3 日 (土)，4 日 (日)

### 5. 投稿方法

知識共創フォーラムの web サイト<<http://www.jaist.ac.jp/fokcs/>>にアクセスし，登録の上，論文のアブストラクトの PDF ファイルをアップロードして下さい．投稿に際して，テーマセッション，一般セッション，シーズセッション，ポスターセッションのどれに投稿するかを指定していただきます．ただし，選考結果によっては，ご希望のセッションとは異なるセッションに組み込まれることがあります．

アブストラクト原稿のフォーマットは，web サイトにテンプレートファイル（本文 1000 文字程度，かつ，A4 で 1 ページ以内）を用意しましたので，そちらをお使い下さい．図表を挿入していただいても構いません．

### 6. 論文賞

[II]～[IV]のセッションにて発表された方の中から最も優秀であると認められた論文に対して論文賞を授与します．この他に，公共政策，地域経営の実践に寄与する優れた研究に対し，本フォーラムの開催地である能美市より能美市長賞が贈られます．

### 7. 問合せ先

知識共創フォーラム事務局

Email: <[office-fokcs@onto.jaist.ac.jp](mailto:office-fokcs@onto.jaist.ac.jp)>